

発表項目	令和5年度(2023年度)道民意識調査結果について
概要	<p>道民の方々の道政に対する意向や意識を把握し、政策形成に反映させることを目的として、毎年度実施している「道民意識調査」について、今年度の結果が取りまとめられましたので、お知らせします。</p> <p><b>【調査の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査対象 道内に居住する満18歳以上の個人</li> <li>○ 標本数 1,500人</li> <li>○ 抽出方法 層化二段無作為抽出法</li> <li>○ 調査方法 郵送配付・郵送回収及びWeb(スマホ)による回答</li> <li>○ 調査期間 令和5年(2023年)9~10月</li> <li>○ 有効回収数(率) 790 (52.7%)</li> </ul> <p><b>【調査項目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食育・食品ロスについて</li> <li>2 少子化に対する意識について</li> <li>3 家庭及び地域の教育力について</li> <li>4 配偶者や交際相手からの暴力について</li> <li>5 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて</li> <li>6 環境配慮に対する意識について</li> <li>7 文化に関する意識について</li> <li>8 北方領土問題について</li> </ol> <p><b>【調査の結果】</b></p> <p>調査結果の概要については、別添「令和5年度(2023年度)「道民意識調査」結果の概要」のとおりです。</p> <p>※ なお、調査詳細はホームページを参照願います。  <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/ishiki/02.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/ishiki/02.html</a></p>
参考	<p><b>※ 各調査項目の詳細については各担当部課あてお問い合わせください(ダイヤルイン)</b>  ※北海道警察本部のみ代表電話</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食育・食品ロスについて 農政部食の安全推進局食品政策課 (011-204-5427)</li> <li>2 少子化に対する意識について 保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課 (011-206-6309)</li> <li>3 家庭及び地域の教育力について 教育庁生涯学習推進局社会教育課 (011-204-5994)</li> <li>4 配偶者や交際相手からの暴力について 保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課 (011-206-6328)</li> <li>5 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて 環境生活部くらし安全局道民生活課 (011-206-6148) 北海道警察本部生活安全部生活安全企画課 (011-251-0110)</li> <li>6 環境配慮に対する意識について 環境生活部環境保全局環境政策課 (011-204-5187)</li> <li>7 文化に関する意識について 環境生活部文化局文化振興課 (011-204-5215)</li> <li>8 北方領土問題について 総務部北方領土対策本部北方領土対策課 (011-204-5069)</li> </ol>
担当 (連絡先)	総合政策部知事室広報広聴課調整係(担当者:樋口) TEL(内線:21-352、ダイヤルイン:011-204-5108)

# 令和5年度(2023年度)「道民意識調査」結果の概要

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

道民の方々の道政に対する意向や意識を把握し、政策形成に反映させることを目的として、毎年度、「道民意識調査」を実施する。

### 2. 調査項目及び設問数 【計：8項目、41問】

調査項目	設問数	担当部課	問合せ先
1 食育・食品ロスについて	6問	農政部食の安全推進局食品政策課	011-204-5427
2 少子化に対する意識について	6問	保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課	011-206-6309
3 家庭及び地域の教育力について	4問	教育庁生涯学習推進局社会教育課	011-204-5994
4 配偶者や交際相手からの暴力について	4問	保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課	011-206-6328
5 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて	6問	環境生活部くらし安全局道民生活課 北海道警察本部生活安全部生活安全企画課	011-206-6148 011-251-0110
6 環境配慮に対する意識について	5問	環境生活部環境保全局環境政策課	011-204-5187
7 文化に関する意識について	5問	環境生活部文化局文化振興課	011-204-5215
8 北方領土問題について	5問	総務部北方領土対策本部北方領土対策課	011-204-5069

### 3. 調査の方法等

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| (1) 調査地域     | 北海道全域                 |
| (2) 調査対象     | 道内に居住する満 18 歳以上の個人    |
| (3) 標本数      | 1,500 サンプル            |
| (4) 地点数      | 150 地点                |
| (5) 抽出方法     | 層化二段無作為抽出法            |
| (6) 調査方法     | 郵送配付、郵送回収及び Web による回答 |
| (7) 調査期間     | 令和 5年(2023年)9月～10月    |
| (8) 有効回答数(率) | 790 (52.7%)           |

【回答方法内訳】 郵送回答 489(61.9%)、Web回答 301(38.1%) 合計 790(100.0%)

### 4. 回答者の特性

#### <地域>

道央	道南	道北	オホーツク	十勝	釧路・根室	無回答
64.2%	8.0%	9.2%	5.7%	6.7%	5.7%	0.5%

#### <人口規模>

札幌市	人口10万人以上の市	人口1万人以上10万人未満の市町村	人口1万人未満の市町村	無回答
38.0%	24.2%	19.6%	17.5%	0.8%

#### <年代別>

18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
13.0%	17.3%	19.4%	24.1%	18.1%	7.8%	0.3%

※端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆調査の目的

道では、「北海道食の安全・安心条例」に基づいて「食育推進計画」を策定し、食育の推進を図っており、食をめぐる環境が変化している中で、食育や食品ロスについて、今後の施策に役立てるために実施。

問1 「食育」の目的は、様々な経験を通じ、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることとされています。あなたは、「食育」に関心がありますか。次の中からあてはまるものを1つだけお選びください。

1 関心がある	35.9%
2 どちらかといえば関心がある	45.3%
3 どちらかといえば関心がない	11.8%
4 関心がない	2.9%
5 わからない	3.5%
無回答	0.5%

問2 「食育」に対してあなたがイメージする取組はなんですか。次の中からあてはまるものを2つお選びください。

1 栄養バランスを考えた食事の実践	51.9%
2 子ども等への規則正しい食生活の実践	46.3%
3 食生活の改善等による高齢者の健康推進	8.9%
4 食品ロスの削減	37.3%
5 農林漁業の体験や食文化の継承	14.6%
6 地産地消の実践	17.5%
7 食品の表示など食に関する情報の理解	12.7%
8 その他(具体的に)	0.8%
無回答	0.4%

問3 コロナ禍や食品の価格高騰など食をとりまく環境に変化がありましたが、こうした変化の前と後で食に関するあなたの考えや行動に変化がありましたか。最もあてはまるものを1つお選びください。

1 以前より価格を気にするようになった	61.0%
2 以前より自宅で調理する機会が増えた	12.3%
3 以前より食材や料理のデリバリー利用が増えた	2.7%
4 特に変わらない	22.0%
5 その他(具体的に)	1.6%
無回答	0.4%

問4 「食品ロス」とは、本来食べることができるにもかかわらず捨てられてしまう食品のことです。あなたが家庭で行っている食品ロス削減の取組について、次の中からあてはまるものを全てお選びください。

1 食べきれぬ量を購入する	61.5%
2 冷凍保存を活用する	70.3%
3 料理をつくり過ぎない	28.7%
4 冷蔵庫等の食材の在庫をこまめに確認する	38.2%
5 残さず食べる	51.9%
6 賞味期限切れでもすぐ捨てずに、自分で食べられるか判断する	59.0%
7 食べきれなかったものを他の料理につくり変える	25.1%
8 その他(具体的に)	1.1%
9 取り組んでいない	0.9%
無回答	0.3%

問5 あなたが外食時に行っている食品ロス削減の取組について、次の中からあてはまるものを全てお選びください。

1 食べきれない分量を注文している。(注文しすぎない、ご飯を小盛にするなど)	87.2%
2 宴会開始時には、まず料理を食べるようにしている	12.0%
3 苦手な料理や量が多いときは食べられる人に食べてもらっている	36.7%
4 宴会終了直前、終了後に残った料理を食べるようにしている	13.2%
5 お店に了解をもらって、残った料理を持ち帰っている	26.1%
6 その他(具体的に)	1.9%
7 取り組んでいない	4.1%
無回答	0.8%

問6 飲食店での「食品ロス」を減らすために、飲食店はどのようなことをすると効果的だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1 小盛りメニューなど量を選べるようにする	75.6%
2 食べ残しを持ち帰りができるようにする	74.3%
3 食べきったお客様にポイントなどの特典を与える	25.9%
4 店員から食べきりの声かけをする	6.7%
5 その他(具体的に)	3.4%
無回答	0.6%

## 2 少子化に対する意識について

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

011-206-6309

### ◆調査の目的

道では、「北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例」に基づき、「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」を策定し少子化対策を進めており、今後の取組状況の検討や計画の見直しの参考にするために実施。

問1 あなたは、少子化が進むことや「少子社会」について、どのように思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1 非常に問題である	64.2%
2 多少問題である	28.0%
3 特に心配する必要はない	4.2%
4 むしろ望ましい	0.1%
5 わからない	3.4%
無回答	0.1%

問2 ※問1で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。どうして問題であると思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から1つだけお選びください。

1 消費の減少による経済規模の縮小	10.3%
2 様々な分野における労働力の不足	29.5%
3 利用者の減少による公共交通機関の維持困難	2.5%
4 年金などの社会保障制度の維持困難	39.6%
5 地方の過疎化の進行	14.0%
6 その他(具体的に)	3.4%
無回答	0.7%

問3 あなたがお住まいの地域は、「安心して子どもを育てられる環境」だと思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1 とてもそう思う	6.1%
2 そう思う	51.1%
3 あまり思わない	27.6%
4 全く思わない	4.1%
5 わからない	11.0%
無回答	0.1%

**問4 仕事と子育てを両立するために、どのようなことが課題だと思いますか。(今後課題となることでも可) あなたの考えに近いものを次の中から3つまでお選びください。**

1 育児休業など制度面における職場の支援体制が不十分	33.7%
2 育児休業等がとりにくい職場環境や雰囲気	39.9%
3 時短勤務やフレックスタイム勤務など就業時間上の配慮が不十分	25.4%
4 保育所や保育サービスが不十分	27.6%
5 病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない	35.3%
6 小学校入学後の放課後児童対策が充実していない	14.1%
7 職場への復帰や再就職が困難	21.5%
8 雇用や労働条件における男女の不公平な扱い	18.6%
9 仕事と子育ての両立に関する配偶者や家族の理解や援助の不足	23.2%
10 特になし	3.3%
11 その他(具体的に)	5.1%
無回答	0.9%

**問5 あなたがお住まいの地域は、例えば登下校時の安全を見守ってくれたり、バスや電車等で子ども連れの親子に席を譲ってくれたりといった行動を通じて、子どもや子育て家庭のことを気にかけてくれる人が多いと思いますか。次の中から1つだけお選びください。**

1 とてもそう思う	5.1%
2 そう思う	31.3%
3 あまり思わない	39.0%
4 全く思わない	5.3%
5 わからない	18.9%
無回答	0.5%

**問6 ※現在子育て中、あるいは子育て経験のある方のみお答えください。あなたが、子育てで不安に思っていること(思ったこと)はなんですか。次の中から3つまでお選びください。**

1 子どもの発達	26.5%
2 子どもの健康	40.0%
3 子どもとの接し方	17.4%
4 家族の子育てに関する考え方	9.3%
5 配偶者の協力	12.6%
6 子育てと自分の時間との両立	15.7%
7 自分の健康や体力	11.8%
8 周囲の目や言葉	5.0%
9 親同士の付き合い	18.0%
10 子ども同士の付き合い	29.2%
11 子育てと仕事の両立	25.9%
12 再就職	2.3%
13 あなたの生き方との関わり	4.6%
14 子育てに係る費用	47.6%
15 その他(具体的に)	2.9%
無回答	

### 3 家庭及び地域の教育力について

教育庁生涯学習推進局社会教育課

011-204-5994

#### ◆調査の目的

人口減少や少子高齢化など、社会が急激に変化し、地域と学校を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しており、道の家庭教育への支援や地域の教育力向上に向けた施策の参考にするために実施。

問1 あなたは、家庭の教育力が低下していると思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1 全くそのとおりだと思う	15.4%
2 ある程度そう思う	46.3%
3 あまりそう思わない	21.8%
4 全くそう思わない	2.0%
5 わからない	14.3%
無回答	0.1%

問2 ※「問1」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。あなたが、家庭の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選びください。

1 子どもに対して、過保護、甘やかし過ぎや過干渉な親の増加	55.5%
2 子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加	60.0%
3 子どもに対するしつけや教育に関心な親の増加	46.7%
4 子どもを親以外の大人(祖父母、近所の人など)とふれあわせる機会の不足	36.3%
5 親子がコミュニケーションをとる時間・機会の減少	36.5%
6 共働き家庭の増加	36.9%
7 テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響	55.1%
8 親の存在感の低下	14.8%
9 その他(具体的に)	3.3%
無回答	0.2%

問3 あなたは、地域の教育力が低下していると思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1 全くそのとおりだと思う	10.4%
2 ある程度そう思う	40.9%
3 あまりそう思わない	25.6%
4 全くそう思わない	1.1%
5 わからない	21.9%
無回答	0.1%

問4 ※問3で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。あなたが、地域の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選びください。

1 近所の人々が、お互いに親交を深められる機会の減少	50.1%
2 地域に対する親近感や愛着の希薄化	46.7%
3 地域行事の減少と参加率の低下	46.4%
4 共働き家庭の増加	45.9%
5 親の地域活動への参加の不足	31.1%
6 地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることへの抵抗感の増加	31.1%
7 地域の人たちの連帯感を培うリーダーの不足	18.5%
8 地域の歴史や文化、自然について学習する機会の減少	18.5%
9 その他(具体的に)	4.9%
無回答	0.7%

## 4 配偶者や交際相手からの暴力について

保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課  
011-206-6328

### ◆調査の目的

配偶者や交際相手からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、暴力を容認しない社会づくりに向け、配偶者等からの暴力の根絶に向けた取組を一層充実させるために実施。

\*設問中の「配偶者等」については、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者(離別・死別した相手、事実婚を解消した相手)、元交際相手も含まれます。

問1 あなたは、次のAとBの言葉について知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

#### A DV(ドメスティック・バイオレンス)

1 言葉も、その内容も知っている	89.2%
2 言葉は知っているが、内容は知らない	7.8%
3 言葉も、その内容も知らない	1.8%
無回答	1.1%

#### B デートDV

1 言葉も、その内容も知っている	42.3%
2 言葉は知っているが、内容は知らない	18.6%
3 言葉も、その内容も知らない	36.5%
無回答	2.7%

問2 あなたは、次のようなことが配偶者等から行われた場合、それを暴力だと思いますか。A～Jのそれぞれについて、「1」～「3」のうち、あなたの考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	あど なた ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	と そ う 暴 力 に あ た る 場 合 も あ る と 思 う	な い 暴 力 に あ た る と は 思 わ ない	無 回 答
A たたく、なぐる、ける、物を投げつける	86.7%	11.6%	0.3%	1.4%
B なぐるふりをしたり、刃物などで脅す	89.6%	8.4%	0.4%	1.6%
C 大声でどなる	52.3%	43.8%	2.2%	1.8%
D ののしる(「誰のおかげで生活できるんだ」「役立たず」など)	77.6%	19.1%	1.8%	1.5%
E 長時間無視し続ける	55.8%	36.1%	6.6%	1.5%
F 家族や他人との関わりを制限する	56.2%	36.2%	5.8%	1.8%
G 交友関係や外出先、電話・メール・SNS(LINEなど)を細かく監視する	59.7%	33.7%	4.7%	1.9%
H 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	75.1%	20.8%	2.5%	1.6%
I 家計に必要な生活費を渡さない	77.5%	18.0%	2.7%	1.9%
J 嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	91.0%	6.7%	0.4%	1.9%

問3 あなたはこれまでに、配偶者等から次のようなことをされたことがありますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	まったく ない	数回 あった	あ 頻 繁 に 何 度 も	無 回 答
身体的暴力 (例:たたく、なぐる、ける、物を投げつける、なぐるふりをしたり、刃物などで脅す、 飲食・睡眠・服薬を制限させるなどの身体に対する暴行)	81.6%	12.0%	2.0%	4.3%
精神的暴力 (例:大声でどなる、ののしる、長時間無視し続ける、家族や他人との関わりを制 限する、交友関係や外出先・電話・メール・SNS(LINEなど)を細かく監視する、職 場に行くことを妨害したり、外出先を制限するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは 自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような 脅迫)	73.5%	17.6%	4.6%	4.3%
経済的暴力 (例:生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、働くことを妨害されるな ど)	86.3%	6.8%	2.4%	4.4%
性的暴力 (例:嫌がっているのに性的な行為を強要される、避妊に協力しない、見たくない アダルト映像等を見せられるなど)	88.6%	6.3%	0.8%	4.3%

問4 ※ご自身または知人の方が、配偶者等から問3のような行為を受けたことがある場合にお答えください。そのことについて、だれか(どこか)に相談されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家族や親戚	37.9%
2 友人・知人	43.2%
3 職場の関係者(上司、同僚など)	13.3%
4 配偶者暴力相談支援センター(道立女性援助センター等)	2.7%
5 警察または警察相談センター	8.3%
6 法務局・地方法務局、人権擁護委員	2.3%
7 上記以外の道の機関	0.0%
8 市町村又は市の婦人相談員	3.0%
9 民間シェルター	3.0%
10 弁護士、弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関	5.3%
11 医療関係者(医師、保健師、看護師など)	3.8%
12 学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	1.9%
13 相談したかったができなかった	12.9%
14 相談窓口があることを知らなかった	7.6%
15 その他(具体的に)	15.5%



## 5 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて

環境生活部くらし安全局道民生活課

011-206-6148

北海道警察本部生活安全部生活安全企画課

011-251-0110

### ◆調査の目的

道では犯罪のない安全で安心な地域づくりの推進に取り組んでおり、道民が不安を感じる様々な犯罪に対する意識や防犯対策、生活している地域での自主防犯活動などについて把握するために実施。

問1 あなたは、犯罪被害にあうのではないかと不安を感じることがありますか。次の中から1つだけお選びください。

1 よくある	6.6%
2 たまにある	37.2%
3 ほとんどない	44.7%
4 全くない	11.0%
無回答	0.5%

問2 ※前ページ「問1」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。あなたが不安を感じる要因について、次の中からいくつでもお選びください。

1 身近なところで事件が起きているから	46.5%
2 街灯の設置が無く(または設置数が少なく)、夜の外出が不安だから	32.1%
3 生活エリア内に防犯カメラがないから(または設置数が少ないから)	34.1%
4 テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから	60.1%
5 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をほとんど知らないから	22.3%
6 わからない	1.2%
7 その他(具体的に)	9.2%
無回答	1.2%

問3 あなたは、地域で起きている犯罪をどのような手段で知りますか。次の中からいくつでもお選びください。

1 テレビ・ラジオ・新聞などといったマスコミからの情報	82.7%
2 インターネットやSNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなど)による情報	59.4%
3 警察からの情報	12.2%
4 防犯講習会・研修会を通じた情報	0.8%
5 学校からの情報	16.7%
6 自治体からの情報	11.9%
7 町内会からの情報	18.6%
8 地域住民からの情報	16.2%
9 情報を入手する手段がない	1.0%
10 その他(具体的に)	2.7%
無回答	0.6%

問4 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような団体での活動に参加(過去に参加していたでも可)していますか。次の中からいくつでもお選びください。

1 町内会	26.1%
2 防犯協会	2.2%
3 防犯を目的とした協議会等(自治体・警察、その他業界団体等で構成されているもの)	3.7%
4 学校・PTA	16.6%
5 職場	10.8%
6 防犯パトロール隊(上記選択肢1～5以外のもの)	1.5%
7 活動に参加していない(または参加したことがない)	56.3%
8 その他(具体的に)	1.3%
無回答	1.8%

問5 ※「問4」で選択肢「7」を選んだ方のみお答えください。

あなたが団体での活動に参加していない(参加したことがない)理由について、次の中から1つだけお選びください。

1 参加したいが地域で活動している団体を知らない	10.3%
2 参加したいが活動団体の窓口が分からない	3.1%
3 参加したいが仕事をしているため時間がとれない	32.1%
4 参加したいが子育てや介護等のため時間がない	5.2%
5 参加する気持ちがない	41.8%
6 その他(具体的に)	5.2%
無回答	2.2%

問6 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような活動や対策が必要だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。

1 街灯等の設置	62.7%
2 防犯カメラの設置	73.3%
3 犯罪被害に強い錠やガラス等の設置	22.4%
4 犯罪情勢や防犯対策に関する情報提供	32.8%
5 防犯講習会・研修会の開催	8.0%
6 防犯を目的とした街頭啓発	7.5%
7 防犯リーフレット等の配布	8.0%
8 防犯パトロール	48.5%
9 防犯ボランティアリーダー等の人材育成	7.2%
10 登下校時の児童の見守り活動	51.6%
11 隣近所との見守り、声掛け	33.3%
12 落書き消しなどの環境美化	13.3%
13 違法駐車排除	25.8%
14 交番の増設や警察官によるパトロール強化	45.7%
15 特になし	2.0%
16 その他(具体的に)	1.6%
無回答	0.8%

## 6 環境配慮に対する意識について

環境生活部環境保全局環境政策課

011-204-5187

### ◆調査の目的

環境負荷の少ない持続可能な北海道づくりに向け、ゼロカーボン北海道の推進、自然環境保全などとともに、その基盤となる「人づくり」の推進に取り組むことが必要であり、道民の環境配慮に対する意識や行動などについて、「北海道環境教育等行動計画」の見直しに反映させるために実施。

問1 あなたは、現在どのような環境問題に関心がありますか。次の中からいくつでもお選びください。

1 地球温暖化問題	74.8%
2 海洋プラスチック問題・海洋汚染	47.6%
3 公害問題(水質汚濁、大気汚染、土壌汚染、騒音、震動、悪臭、地盤沈下)	39.4%
4 ダイオキシンなどの有害化学物質による環境汚染	18.7%
5 リサイクル、廃棄物の適正処理など	45.1%
6 自然環境の保全	42.3%
7 野生生物の保護管理(希少野生動物の保護、外来種対策、エゾシカ・ヒグマの管理など)	39.2%
8 その他(具体的に)	1.1%
9 関心がない	4.7%
無回答	0.5%

問2 あなたは、日常生活において、環境に配慮した行動をどの程度行っていますか。次の中から1つだけお選びください。

1 十分行動している	8.4%
2 少し行動している	63.4%
3 あまり行動していない	25.2%
4 全く行動していない	2.7%
無回答	0.4%

問3 あなたは、5年ほど前と現在を比べた場合、自身の環境への関心が変化したと感じますか。次の中から1つだけお選びください。

1 関心は高まった	22.8%
2 少し関心は高まった	47.7%
3 変わらない、わからない	28.1%
4 少し関心は低くなった	0.8%
5 関心は低くなった	0.4%
無回答	0.3%

問4 あなたは、過去1年間で次のA、Bに参加したことがありますか。それぞれ1つずつお選びください。

A 環境保全に関する知識の習得の場(講演、セミナー、学習会等)	
1 参加した	7.1%
2 参加していない	91.5%
無回答	1.4%
B 環境保全に関する活動(清掃活動、緑化活動等)	
1 参加した	20.3%
2 参加していない	79.1%
無回答	0.6%

問5 あなたは、以下にあげるようなことについて、日頃から行っている又は今後行いたいと思いますか。A~Jのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	日頃から行っている	行っていない		無回答
		今後行いたいと思う	今後も行いたいと思わない	
A 日常生活において節電等の省エネに努める	75.3%	21.6%	2.2%	0.9%
B 再生可能エネルギー由来等の環境負荷が少ない電気を調達する	16.2%	66.8%	14.7%	2.3%
C クールビズ・ウォームビズに取り組む	65.6%	24.8%	7.5%	2.2%
D 日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	54.2%	40.3%	4.4%	1.1%
E 不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユースにまわす	35.8%	46.6%	15.8%	1.8%
F ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする	94.9%	3.4%	0.6%	1.0%
G 運転の際は、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない	80.1%	13.4%	3.2%	3.3%
H 日常生活において節水に努める	74.4%	23.0%	1.5%	1.0%
I 物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する	34.6%	53.9%	9.9%	1.6%
J 宅配便の再配達が発生しないよう努める	67.0%	28.4%	2.9%	1.8%
K その他(具体的に)				

## ◆調査の目的

新型コロナウイルス感染症の影響による道民の文化芸術活動に対する意識の変化を把握し、優れた文化に触れることができる機会の確保と、文化芸術活動の活性化を促進するために実施。

問1 文化活動に関する意識についてお聞きします。あなたは、芸術鑑賞や文化イベントへの参加、文化関係のボランティアなど、文化活動に興味はありますか。次の中から1つだけお選びください。

1 興味がある	21.0%
2 どちらかといえば興味がある	38.7%
3 どちらかといえば興味がない	21.3%
4 興味がない	14.4%
5 わからない	4.1%
無回答	0.5%

問2 文化芸術に関する活動状況についてお聞きします。あなたは、この1年間に、文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。次の中から、いくつでもお選びください。

1 劇場や映画館、美術館、博物館などでの文化芸術作品の直接鑑賞	49.7%
2 音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	9.5%
3 文学(小説や俳句など)、音楽、美術(絵画や陶芸など)、演劇、舞踊等の作品の創作	7.6%
4 地域の芸能や祭りへの参加	20.9%
5 子どもの文化芸術体験のためのボランティア活動	3.4%
6 美術館・博物館・歴史的建造物などでの案内や、音楽祭・映画祭などの文化イベントでの運営支援などのボランティア活動	3.2%
7 特に行ったことはない(したいことはない)	35.9%
8 わからない	4.4%
9 その他(具体的に)	1.0%
無回答	0.8%

問3 道内の文化振興の状況についてお聞きします。

現在、道内で盛んに取り組まれていると感じる活動について、あてはまると思うものを次の中から、いくつでもお選びください。

1 音楽・演劇・絵画など、優れた文化芸術に触れる機会の確保	27.3%
2 文化サークルなど、地域における自主的な文化活動の推進	13.2%
3 子どもたちの身近に、文化芸術に触れる機会の確保	14.9%
4 文化芸術に関する情報の発信	11.5%
5 文化を通じた国内外との交流	4.8%
6 地域の文化資源の地域振興への活用	7.1%
7 世界遺産の縄文遺跡群に関する情報発信	9.4%
8 まんが・アニメといったメディア芸術の振興	11.6%
9 特になし	17.7%
10 わからない	32.4%
無回答	1.0%

**問4 地域の文化的環境についてお聞きします。**

あなたは、文化芸術の鑑賞や、文化芸術に関する活動・習い事の機会、文化資源の保存・活用といった、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。次の中から1つだけお選びください。

1 満足している	3.3%
2 どちらかといえば満足している	22.3%
3 どちらかといえば満足していない	15.7%
4 満足していない	10.0%
5 わからない	48.0%
無回答	0.8%

**問5 地域の文化的な環境を充実させるために、何が重要だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。**

1 ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	30.1%
2 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	26.8%
3 地域の芸能や祭りなどの継承・保存	27.6%
4 文化資源を活かしたまちづくりの推進	17.2%
5 文化活動を行う人たちに対する支援	26.8%
6 地域の文化活動やイベント、文化資源に関する情報提供の充実	26.6%
7 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	39.5%
8 特になし	6.3%
9 わからない	16.8%
10 その他(具体的に)	2.2%
無回答	0.5%

## 8 北方領土問題について

総務部北方領土対策本部北方領土対策課

011-204-5069

**◆調査の目的**

北方領土問題に関する認知度や関心、啓発活動へのニーズを把握し、特に次世代を担う若い方々の意識向上につながる効果的な啓発活動を検討するために実施。

**問1 日本とロシアの間に北方領土をめぐる問題がありますが、あなたは、北方領土についてどの程度知っていますか。次の中から1つだけお選びください。**

1 北方領土をめぐる問題について、よくわかっている	13.0%
2 北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている	52.4%
3 北方領土の四つの島の名前がわかる程度	18.6%
4 北方領土という言葉聞いたことがある程度	11.0%
5 よくわからない	4.8%
無回答	0.1%

**問2 ※「問1」で選択肢1～4を選んだ方のみお答えください。**

北方領土問題を何から知りましたか。次の中からいくつでもお選びください。

1 テレビ・ラジオ	82.0%
2 新聞	48.6%
3 本や雑誌などの出版物	17.2%
4 ホームページやインターネットのニュース	20.0%
5 フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	7.1%
6 YouTubeなどの動画配信サイト	5.2%
7 学校の授業	40.6%
8 家族・知人	11.7%
9 返還署名運動	15.7%
10 北方領土フェスティバルなどのイベント	3.7%
11 北方領土パネル展や啓発ブース	7.6%
12 元島民等の講話	2.7%
13 広報・啓発刊行物(パンフレットやリーフレットなど)やポスター	6.0%
14 北方領土返還要求運動シンボルの花「千島桜」	2.4%
15 北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」の活動	1.6%
16 映画「ジョバンニの島」や北方領土問題を啓発する映像作品	1.5%
17 空港、街角などに設置されているモニターやビジョン	3.5%
18 その他(具体的に)	1.9%
19 よくわからない	0.3%
無回答	1.1%

問3 ※「問1」で選択肢1～4を選んだ方のみお答えください。

あなたは、北方領土をめぐる問題について、どの程度関心がありますか。次の中から1つだけお選びください。

1 とても関心がある	16.5%
2 少し関心がある	50.1%
3 あまり関心がない	26.9%
4 全く関心がない	4.3%
無回答	2.3%

問4 運動の中心である北方四島の元島民等の高齢化が進む現状においては、特に若い方々の関心を高めていくことが必要です。

あなたは、若い方々を含めた幅広い世代に向けた啓発活動としてどのような取組みが重要だと思いますか。次の中から2つまでお選びください。

1 学校における北方領土教育の充実	58.6%
2 元島民等の講話など北方領土について学ぶ機会の充実	24.4%
3 イベントや署名など直接参加できる機会の充実	10.6%
4 ホームページやメールマガジンなど電子媒体での情報提供の充実	10.3%
5 フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNSを用いた広報・啓発の充実	22.3%
6 北方領土隣接地域である根室管内での現地見学・体験の充実	14.7%
7 その他(具体的に)	3.2%
8 よくわからない	15.8%
無回答	1.1%

問5 あなたが道や各団体が行っている啓発活動に参加するとした場合、どのような活動に参加を希望しますか。次の中から2つまでお選びください。

1 講演会など北方領土について学べる機会	28.1%
2 直接意志を表明できる署名	13.0%
3 北方領土関係のイベント	19.0%
4 元島民等の講話	15.8%
5 北方領土隣接地域である根室管内の現地見学・体験	17.5%
6 特に参加したいとは思わない	38.7%
7 その他(具体的に)	2.8%
無回答	1.0%